# LAN 製品 共通インストールマニュアル v5.6.4



#### はじめに

本機のご購入を大変感謝し、貴殿システムへの迅速なご活用とご繁栄を願います。 本ドキュメントは弊社 LAN 製品のご活用に際して必要な LAN シリーズの主にインストールに関する共 通情報をまとめたものです。製品添付の製品マニュアルと一緒にご覧下さい。(但し SS-LAN-RLSW シ リーズ等は仮想 COM ポートは使っておりません)

また本機は WindowsO/S の進化に即応させる目的で全ての弊社 LAN 関連製品は Ethernet と接続するデバイスとして米国 LANTRONIX 社の XPORT を採用しています。

システムサコム工業株式会社は本デバイス代理店として日新システムズ殿と提携し、日新システムズ 名義の日本語マニュアルなど関連各種文書をご購入して戴いた皆様に開示・添付する承諾を得て、より 良いサポートを提供しつづけています。

1、フォルダ格納品について	2
2、XPORT バージョン 05 について	
2-1、最新バージョン CPR インストールについて	4
3、基本操作概念	4
3-1、仮想 COM 接続	5
3-2、Telnet 接続	5
3-3、シリアルトンネリング接続	6
3-3、DeviceInstaller について	7
4、DeviceInstaller 関連の設定手順	
4-1、ネットワーク設定手順	
4-2、通信条件設定手順	
4-3、Pack Control について	
4-4、IPアドレス不明の場合の設定方法	15
5、CPR Manager 関連の設定手順	19
5-1、仮想 COM ドライバー設定手順	19
5-2、仮想 COM: RS232C シリアル通信(CTS/RTS)制御の設定方法	20
6、シリアルトンネリング設定手順	
6-1、Network	
7、ヒント	
7-1、DeviceInstaller 検索しても IP アドレスが見つからない	
7-2、シリアルから IP アドレスを見つける方法	33
7-3、IPアドレスを決定する場合の注意点	
7-4、仮想 COM ポートを設定しようとしたが出来ない	
7-5、本機と通信できなくなった	42

## 目 次

# 1、フォルダ格納品について

以下に、LAN 系\_共通 CD\_Ver05R フォルダに格納されている主フォルダ及びファイルの簡単な説明をします。



#### ◆共通 DeviceInstaller\_Ver05R とは?

SS-LAN シリーズの弊社 Ethernet を応用した製品の現 IP アドレスを貴殿 LAN 環境から検知する為の Windows プログラム です。DeviceInstaller として従来から使用されていましたが今回 05R としてバージョンアップされました。最新詳細マニ ュアルは、共通 XportDevice/XPort\_UserGuide\_2013\_2.pdfの p15~です。 参考用従来の日本語マニュアルは、共通 DeviceInstaller Ver05R/旧バージョン日本語マニュアル内です。

(以下、Ethernet で構成した Local Area Network の表現を LAN と省略する場合があります)

#### ◆共通 WebManager とは?

各設定(ボーレイト等通信条件や、IPアドレスなど様々な設定)をWebブラウザを介して行うための操作説明書です。 WebManagerはインストールの必要はありません。Internet Explorerや Mozilla Firefox などブラウザから呼び出すことで実 行できます。WebManagerを呼び出す方法は製品 IPアドレスで行います。例 192.168.100.3 (IPアドレスを見つける方法は DeviceInstallerで行います。)(注) Google Chrome ブラウザでは、途中でフリーズする、設定が正しく反映されない等の動作不具合が 報告されています。)最新詳細マニュアルは、共通 XportDevice/XPort\_UserGuide\_2013\_2.pdfの p19~です。 参考用従来の日本語マニュアルは、共通 WebManager/旧バージョン日本語マニュアル内にあります。

#### ◆共通 ComPort\_Ver05R とは?

シリアル通信(RS232C、RS422、RS485、TTLなど)とLAN間の変換に使用するWindowsO/S用の仮想COMポートドライバーを構築するソフトウェアツールです。ComPort Redirector: CPRとして従来から使用されていましたが、今回05Rとしてバージョンアップされました。(SS-LAN-RLSWシリーズにはシリアルが無いのでこのツールは不要です)最新詳細マニュアルは、共通ComPort\_Ver05R/Com-Port-Redirector\_Ver4\_QuickStart.pdfです。参考用従来の日本語マニュアルは、共通ComPort\_Ver05R/旧バージョン日本語マニュアル内にあります。

#### ◆共通 SetupMenu.pdf とは?

#### SetupMenu はコマンド形式の各種変更設定方法です。

各設定は、上述した共通 WebManager で Web ブラウザを介して行われますが、それが出来るのは IP アドレスが判明して いる場合だけです。IP アドレスが判っていれば Telnet (Window 以外の O/S (Mac や組込 O/S 等)からの操作も可能です)から入れます。もし IP アドレスが判らなくなった場合はシリアル側 (RS232C や RS485、RS422、TTL)から SetUp モードで各種設定 (IP 変更も含む)ができます。 (RLSW はシリアル機能が外部に出ていないので使えません)後述の「IP アドレス 不明の場合の設定方法」を参照して下さい。最新詳細マニュアルは、共通 XportDevice / XPort\_UserGuide\_2013\_2.pdfのp41~です。参考用従来の日本語マニュアルは、この共通 SetupMenu.pdf です。

#### ◆共通 XportDevice とは?

本機搭載の LAN 変換デバイス Xport バージョン 05 の英文マニュアルです。残念ながら 2013/7 現在、日本語化されていま せん。Xport の各性能から操作の為の情報が記載されています。なお、従来バージョンからの大きな変更点は MAC アドレ スですので、その他の機能説明や性能仕様などは大変参考になります。

#### ◆SS-LAN-シリアル とは?

SS-LAN-4248I-xx 製品に関する工場出荷設定への戻し方などの補足説明です。将来このフォルダには SS-LAN シリアル通 信機器関連の補足文書が追加される場合があります。ここには各製品に添付される製品マニュアルは含まれていません。 最新版の本 CD や製品マニュアルは <u>http://www.sacom.co.jp/</u>よりダウンロードできます。

#### ◆SS-LAN-リレーI/O とは?

SS-LAN-RLSW-xx 製品に関する Windows 用テストプログラムや Jave による参考プログラム等を格納しています。将来このフォルダには SS-LAN リレーもしくは I/O 機器関連の補足文書が追加される場合があります。ここには各製品に添付される製品マニュアルは含まれていません。最新版の本 CD や製品マニュアルは <u>http://www.sacom.co.jp/</u>よりダウンロードできます。

# 2、XPORT バージョン 05 について

弊社LAN関連製品のXPORTバージョン05 についての説明を以下に示します。



製品シール貼り付けのMACアドレスが XPort05Rより 00-80-A3-XX-XX-XX となりました。 (ちなみに、従来MACアドレスは 00-20-4A-XX-XX-XX です)

弊社製品内 Ethernet デバイス(Xport)のバージョンアップに伴い

・DeviceInstaller -------全 LAN 関連全製品に必要です。

・ComPortRedirector (CPR) ------SS-LAN-RLSWの1ch版は不要ですが (SS-RLSW-3S10P-ADP は必要です)

どちらのバージョンも下記の最新版に更新しなければ 05 の本機を認識しません。 (MAC アドレス番号が異なる為) ちなみにこの最新版は旧バージョン製品も認識し、機能的な変更は特にありません。

本 CD には最新版の DeviceInstaller、ComPortRedirector が入っています。 (もし、旧バージョンをご利用される場合は弊社サイトよりダウンロードして下さい)

今回の特徴はインストール時にインターネットに接続しないスタンドアローンタイプが登場したことです。 お好みにより選択して下さい。迷うようでしたらスタンドアローンタイプをお勧めします。 下記はフォルダ名です。

#### 最新版:

共通 DeviceInstaller\_Ver05R フォルダ
 DeviceInstaller 4.3.0.8 Windows stand-alone -----スタンドアローンタイプ

 DeviceInstaller 4.3.0.8 Windows internet access (従来タイプ)
 共通 ComPort\_Ver05R フォルダ
 CPR4.3.0.2 Windows Stand-alone -----スタンドアローンタイプ

 CPRV4.3.0.2 Windows GUI (従来タイプ)
 CPR4.3.0.2 Windows Command

以下は今回リリースの対応 O/S 情報です。 いずれも Windows であることにご注意ください。 しかし一旦設定を終えると Linux や Mac など O/S に関わらず問題なく動作します。

Lantronix DeviceInstaller for Version 4.3.0.8 Lantronix Com Port Redirector (CPR) for Version 4.3.0.2

x86 (32bit): XP/2003 Server/Vista/Windows 7/Windows 8/2008 Server x64 (64bit): Vista/Windows 7/Windows 8/2008 Server

# 2-1、最新バージョン CPR インストールについて



注) ComPortRedirector 旧バージョンがインストールされている PC はご注意ください。 以前の CPR バージョンが貴殿 PC 内にインストールされている場合は、 必ず最新 CPR バージョンのインストールの前に、 旧 CPR バージョンをアンインストールしてください。

アンインストール方法は、 コントールパネルの "プログラムの追加と削除(WinXP)" あるいは、"プログラムのアンインストール(Win7)" 等から行ってください。

注) "インターネット接続ファイアウォール"を無効にしなければならない場合があります。

■ UDP ポート 30718、43282、43283 が使用可能でなければなりません。 そうしないと、Xport デバイスを検出したり、ネットワーク上の任意の Xport デバイスと通信すること ができません。

05 バージョン以降の本機は、専用ポート 30718 を例外として追加する必要があります。 (バージョンの見分け方は、前述の「XPORT バージョン 05 について」参照)

もし Microsoft Search Server (MSS)などのレガシー本機と CPR を使用している場合は、43282 と 43283 の例外を追加します。 また接続が、2 つの異なるサイト間にある場合、これらのポートは、企業のファ イアウォールを介してアクセスできるようにする必要があるかもしれません。

3、基本操作概念

# **Basic**

(2013/4 以降の製造 Lot よりデバイスのバージョンアップに伴い、 文中の各バージョン番号が異なりますが基本は同じ操作ですので読み替えてご使用ください。 よろしければ 05 バージョンよりリリースされたスタンドアローンタイプをご利用ください。 また文中 XPORT03 は XPORT04 を経て、現在 XPORT05R です)

はじめに

本機は用途によって色々な使用方法があります。

ここでは主な3種類の方法(仮想 COM 接続、Telnet 接続、シリアルトンネリング接続)をご案内します。 本文で簡単に LAN と記載しているのは、Ethernet での TCP/IP 通信を表します。

ルーターのポート開放等により、LANから Internet などの WAN への乗り入れも可能です。

(Internet にて、「ポート転送」と言うキーワードで検索するとさまざまなルータでの例が見れます)

# 3-1、仮想 COM 接続

# Virtual COM

WindowsPC から LAN 経由でシリアル機器を操作する場合に使用します。

構成:

WindowsPC(仮想 COM) ----- (LAN) ------ 【本機】 -----シリアル通信-----機器

DeviceInstaller をインストールします。
CPR (CprManager) をインストールします。
(過去に同様のプログラムがある場合は完全に削除・消去して下さい。)
設定手順は、5、CPR Manager 関連の設定手順 をご覧ください。

# 3-2、Telnet 接続

# **Telnet**

WindowsPC から Telnet 経由でシリアル機器を操作する場合に使用します。

構成:

WindowsPC (Telnet) ----- (LAN) ------ 【本機】-----シリアル通信-----機器

Telnet 接続は本機の IP アドレスが判っていれば接続できます。

IPアドレスを知る為に、DeviceInstallerをインストールします。

ここで判った IP アドレスと TCP ポート番号(10001)で Telnet 端末ソフトより接続します。

主な Telnet 端末ソフトは DOS コマンドや、フリーの TerTerm などがあります。

Tera Term: Ne	ew connection		
● TCP/IP	Hos <u>t</u> :	192.168.10	D.6 -
	Service:	<ul> <li>History</li> <li>Telnet</li> </ul>	TCP port#: 10001
		© SSH	SSH version: SSH2
		© Other	Proto <u>c</u> ol: UNSPEC -
© Serial	Po <u>r</u> t:	COM2: Lar	ntronix CPR Port (COM2) 👻
	OK	Cance	l <u>H</u> elp
(TeraTerm 例)			
9 192.168.1	.00.6:10001 -	Tera Term VT	
<u>File E</u> dit <u>S</u>	<u>S</u> etup C <u>o</u> ntrol	l <u>W</u> indow <u>K</u>	anjiCode <u>H</u> elp
1234567890	123		~ ~

(接続例:本機エコーバック動作中に123…とKey入力したところ)

# 3-3、シリアルトンネリング接続

# Serial tunneling

2ヶ以上のシリアル通信機器を、途中LANで経由して、再びシリアル通信に戻して通信する場合に使用 します。基本的にIPは固定化して使用します(工場出荷時はDHCPによる自動IP設定状態です) 下図に示すように、偶数台の本機を使用します。

構成1:1対1の構成です。 シリアル通信----【本機】----(LAN)------【本機】----シリアル通信

構成2: Ethernet 用 HUB を利用した複数台構成例です。

シリアル通信 1	【本機】	 Н		Н	【本機】	シリアル通信1
シリアル通信 2	【本機】	 U	(LAN)	U	【本機】	シリアル通信 2
シリアル通信 3	【本機】	 В		В	【本機】	シリアル通信3

構成2において、

右側シリアル通信1と左側シリアル通信1が互いに送受信可能となり、

同様に、右側シリアル通信2と左側シリアル通信2が互いに送受信可能、

右側シリアル通信3と左側シリアル通信3が互いに送受信可能となります。

要するにあらかじめ設定した2台の右左ペア同士だけが通信可能となると言う事です。

このように接続先が1:1固定の場合は特に問題ありませんが、動的に接続先を移動することも可能です。 この原理は接続先として設定している IP アドレスをプログラムで随時変更してゆきます。SetupMenu を使用 します。

設定手順は、6、シリアルトンネリング設定手順をご覧ください。

## 3-3、DeviceInstaller について



本製品が接続された EtherNet 上で、 どの IP アドレスになっていかを調べるソフトウェアです。

製品名称 SS-LAN-232CTTL-AC(固定 IP 製品) 以外は、 全て DHCP 機能(ルータなどに内蔵)による自動割当です。

(従ってルータなど DHCP 機能が存在しないネットワークでは検知できません。その様な場合はシリアル側から IP を任意に固定する方法(SetupMenu)もあります。しかし SS-LAN-RLSW-xxxx はシリアルが無いので 出来ません)

ですので、もし PC や PLC などへ直結する場合は通常 DHCP 機能がありませんので、購入時設定のままでは PC 直結は出来ません。しかし、一旦 Windows 環境より固定 IP に変更することによりクロスケーブルにて直結できます。

ご使用の環境に従い DHCP により空いている IP アドレスが割り振られます。

その IP アドレスを探す為に DeviceInstaller で検索させます。このままの検索結果 IP アドレスをご利用になら れる場合、なんらかの事情(起動時に割り当てが変化)で IP アドレスが変化する事がありますので固定 IP を お勧めしています。

また、固定 IP に変更する場合は衝突しないように、空いた IP アドレスを選定いただき(貴殿システムエンジ ニアへお確かめ下さい)任意の IP へ固定できます。基本的な事ですが検知可能な IP アドレスは基本的に同ア ドレスセグメント内です。(後述の「IP アドレスを決定する場合の注意点」を参照)

異アドレス空間でも DeviceInstaller が検知(常にではありません)した場合は、

赤文字で表示され、IP割当ボタンにより自動あるいは任意のIPに変更可能です。

検知できない場合は、一旦、弊社製品の電源を OFF にし、3秒後 ON にして頂き、再度検知させてみてくだ さい。それでも駄目な場合は製品側面シールの MAC アドレスを下記の例のように IP 割当ボタン後に表示さ れる場所へ半角で書き込み捜査させてみてください。



MACアドレスによる検知も DeviceInstaller は上記のようにサポートしていますが、残念ながら弊社で実験したところ、検知できる確率はかなり低いです。このような状態は、設定した固定 IP を忘れた場合や、別部署で変更された場合に起こります。しかし別の PC から探させると簡単に見つかる場合もあります。ケーブルやHUB に問題がある場合もあります。手っ取りばやい方法はシリアル側から IP を書き込みます。この方法は、7-2、シリアルから IP アドレスを見つける方法 に記載されていますのでお試しください。

## 4、DeviceInstaller 関連の設定手順

### 4-1、ネットワーク設定手順

本機LANインタフェースは初期状態でIPアドレス自動取得モードです。そのままでもご使用になれま すが、電源投入のたびにIPアドレスが変化する可能性があるため、本機LANインタフェースを固定IP アドレスに変更することを推奨します(変更方法は後述します)。

まず本機 LAN インタフェースの認識を行います。本機をルータ(DHCP 機能)が存在するネットワーク へ接続して電源を投入して下さい。その際のモードは RS232C/422/485 いずれでもかまいません。また RS232C/422/485 コネクタへの接続も不要です(接続しておいてもかまいません)。DeviceInstaller プログ ラムを立ち上げ や検索をクリックして検索し、ネットワーク上に本機が検出されると下図の例のような 画面が表示されます。

😢 Lantronix デバイスインストーラー 4.3.0.8		x
ファイル エディット 表示 デバイス	ツール ヘルプ	
🔎 検索 d 無効にするデバイス 🔌 IP割当	🔕 アップグレード	
E- Lantronix Devices - 1 device(s)	デバイスの詳細 Webコンフィギュレーション Telnet設定	
□-愛加 ローカル エリア接続 (192.168.100.2) □	₴ 詳細のリロード	
192.168.100.7	フロバディ         1世           名前         XPort-05           DHCP Device Name         グループ           コメント         ゴメント           デバイスファミリー         XPort           タイプ         XPort-05           ID         X9           パードウェアアドレス         00-80-A3-91-D8-2	2B
	ファームワェアハーション     6.9       エクステンデッドファームウェアバー…     6.9.0.2       オンラインフラ・クス     オンライン       IPアドレス     192.168.100.7       サポート:ダイナミックIP     Dynamically       DHCPでの取得     終了	
	RARPでの取得         無効           自動IPの取得         終了           サブネットマスク         255.255.255.0           デフォルトゲートウェイ         0.0.0           最大COBパーティション数         6           ボート数         1           TOB トレーマコン         15	
	ICPキーファライフ有効範囲     45       Telnet有効     終了       Telnetポート     9999       WEBポート     80       最大ボーレート     921600       ファームウェアップグレード     終了	
	サポート:コンフィギュレーションピン 終了 サポート:Eメールトリガー 終了 サポート:AESデータストリーム 無効 サポート:485 終了 サポート:921Kボーレート 終了 サポート:HTTPサーバー 終了	
	サポート:HTTPセットアップ 終了 サポート:230Kボーレート 終了 サポート:GPIOコミュニケーション 終了	

★ ここからの操作は Internet Explorer や Mozilla Firefox などブラウザから行う事もできます。
 <u>(注) ブラウザのバージョンによって正常に表示されない場合があります。</u>
 呼び出す方法は製品 IP アドレスで行います。(検索ではありません) 例 http://192.168.100.50 改行

😪 Lantronix デバイスインストーラー 4.3.0.8	
ファイル エディット 表示 デバイス	ツール ヘルプ
🔎 検索 🤤 無効にするデバイス 🔇 IP割当	マップグレード
□-雲 Lantronix Devices - 1 device(s) □-会 ローカル エリア接続 (192.168.100.2) □-つ XPort □	デバイスの詳細 Webコンフィギュレーション Telnet設定 ● ⑦ ⑦ アドレス http://192.168.100.7 • ⑦ ⑦ ◎ ○ ◎ ○ ◎
	デバイスのナビゲーションを開始するためにGOボタンを5
☑ レディー	

ユーザー名とパスワードを要求する画面が表示されますが、初期状態では何も設定されていないため OKをクリックして続行します。

Ŵ	Vindows セキュリティ
	(null) のサーバー 192.168.100.7 にはユーザー名とパスワードが必要で す。
	警告: このサーバーは、ユーザー名とパスワードを安全ではない方法で 送信することを要求しています (安全な接続を使わない基本的な認証)。
	ユーザー名         パスワード         資格情報を記憶する
	OK         キャンセル
補足: 上図の:	ューザー名、パスワードは、現在バージョンではパスワードのみになります。
設定方法は、We の項へ適当なパン	b-Manager の左メニューServer の Server Configuration の TelnetPassword: <ワードを設定してください。 Server Configuration
設定方法は、We の項へ適当なパン Server	b-Manager の左メニューServer の Server Configuration の TelnetPassword: マワードを設定してください。 Server Configuration Telnet Password:
設定方法は、We の項へ適当なパン Server Serial Tunnel Hostlist Channel 1	b-Manager の左メニューServer の Server Configuration の TelnetPassword: スワードを設定してください。 Server Configuration Telnet Password: ) ● ● Retype Password: ) ● ●
設定方法は、We の項へ適当なパジ Server Serial Tunnel Hostlist Channel 1 下記の Password	b-Manager の左メニューServer の Server Configuration の TelnetPassword: スワードを設定してください。 Server Configuration Telnet Password: ) ●● Retype Password: ) ●● の場所では無い事に注意してください。(これは Passive 接続用です)
設定方法は、We の項へ適当なパジ Server Serial Tunnel Hostlist Channel 1 下記の Password Channel 1 Serial Setting	b-Manager の左メニューServer の Server Configuration の TelnetPassword: スワードを設定してください。 Server Configuration Telnet Password: Retype Password: の場所では無い事に注意してください。(これは Passive 接続用です)
設定方法は、We の項へ適当なパン Server Serial Tunnel Hostlist Channel 1 下記の Password Channel 1 Serial Setting Connection	b-Manager の左メニューServer の Server Configuration の TelnetPassword: スワードを設定してください。 Server Configuration Telnet Password: ) ● ● Retype Password: ) ● ● の場所では無い事に注意してください。(これは Passive 接続用です)
設定方法は、We の項へ適当なパジ Server Serial Tunnel Hostlist Channel 1 下記の Password Channel 1 Serial Setting Connection Email Trigger 1	b-Manager の左メニューServer の Server Configuration の TelnetPassword: スワードを設定してください。 Server Configuration Telnet Password: )・・ Retype Password: )・・ の場所では無い事に注意してください。(これは Passive 接続用です)
設定方法は、We の項へ適当なパン Server Serial Tunnel Hostlist Channel 1 下記の Password Channel 1 Serial Setting Connection Email Trigger 1 Trigger 2	b-Manager の左メニューServer の Server Configuration の TelnetPassword: スワードを設定してください。 Server Configuration Telnet Password: ) ● ● Retype Password: ) ● ● の場所では無い事に注意してください。(これは Passive 接続用です)
設定方法は、We の項へ適当なパン Server Serial Tunnel Hostlist Channel 1 下記の Password Channel 1 Serial Setting Connection Email Trigger 1 Trigger 3	b-Manager の左メニューServer の Server Configuration の TelnetPassword: スワードを設定してください。 Server Configuration Telnet Password: ) ● ● Retype Password: ) ● ● の場所では無い事に注意してください。(これは Passive 接続用です) S Connect Mode Passive Connection: Accept Incoming: Yes Password Required: ○ Yes ○ No
設定方法は、We の項へ適当なパン Server Serial Tunnel Hostlist Channel 1 下記の Password Channel 1 Serial Setting Connection Email Trigger 1 Trigger 2 Trigger 3 Configurable P	b-Manager の左メニューServer の Server Configuration の TelnetPassword: スワードを設定してください。 Server Configuration Telnet Password: ●● Retype Password: ●● の場所では無い事に注意してください。(これは Passive 接続用です) S Connect Mode Passive Connection: Accept Incoming: Yes Password Required: ● Yes ● No Password:
設定方法は、We の項へ適当なパン Server Serial Tunnel Hostlist Channel 1 下記の Password Channel 1 Serial Setting Connection Email Trigger 1 Trigger 2 Trigger 3 Configurable P Apply Settings Apply Defaults	b-Manager の左メニューServer の Server Configuration の TelnetPassword: スワードを設定してください。 Server Configuration Telnet Password: ●● Retype Password: ●● の場所では無い事に注意してください。(これは Passive 接続用です)

次に Network をクリックすると下図の画面が表示されます。初期状態では IP アドレス自動取得モード (Obtain IP address automatically)に設定されています。

😢 Lantronix デバイスインストーラー 4.3.0.8		
ファイル エディット 表示 デバイス	ツール ヘルプ	
🔎 検索 \ominus 無効にするデバイス 💊 IP割当	🔕 アップグレード	
Lantronix Devices - 1 device(s)	デバイスの詳細 Webコンフィギュレーション Telne	殿定
□··登台 □ - //// エリア接続 (192.168.100.2) □··□ XPort		7/secure/ltx_conf.htm - 🔁 🔁 🥹   👽 🗔 📔
A XPort-05 - firmware v6.9.0.2 ↓ 2010 - 100	<b>X</b> Port <sup>®</sup>	
	企	Network Settings
	Network       Server       Serial runnel       Hostlist       Channel 1       Serial Settings       Connection       Email       Trigger 2       Trigger 3       Configurable Pins       Apply Settings       WebManager Version: 2.0.0.2       http://192.168.100.7/secure/ltx_conf.htm	Wired Only
M 10/1 -		

これを固定 IP モード(Use the following IP configuration)に変更し、本機を接続しているネットワーク環 境に合わせた IP アドレス(IP Address)、サブネットマスク(Subnet Mask) と、必要であれば、デフォル トゲートウェイ(Default Gateway)、ネームサーバ(DNS Server)を入力します。



次にOKをクリックし、変更内容を仮保存します。この段階では本機メモリ内には書き込まれていませんのでご注意ください。 最後に Apply Settings をクリックして設定を本機メモリ内に書き込みます。







となります。

DeviceInstaller は次の設定のために起動したままにしておきます。

## 4-2、通信条件設定手順

IP アドレスを変更したためふたたび本機 LAN インタフェースの認識を行います。DeviceInstaller の 検索をクリックして検索し、デバイスの詳細タブを表示します。ネットワーク上に本機が検出される と下図の例のような画面が表示されます。

		- 1
調 Lantronix Devices - I device(s) アハイスの 立 晶 ローカル エリア接続 (100,169,100,0)	詳細   Webコンフィキュレーション   Telnetityp	É
E 2 詳細の ○ XPort XPort	リロード	
E → Wort-05 - firmware v6.9.0.2	プロパティ	ſſſ
192 168 100 50	名前	XPort-05
	DHCP Device Name	
	グループ	
	デバイスファミリー	XPort
	タイプ	XPort-05
	ID	Х9
	ハードウェアアドレス	00-80-A3-91-D8-2B
	ファームウェアバージョン	6.9
	エクステンデッドファームウェアバー	6.9.0.2
	オンラインステータス	オンライン
	1 47 L KA	132.100.100.00
	サポート:ダイナミックIP	Statically
	サブネットマスク	255.255.255.0
	7 78/017 1-721	0.0.0.0
	最大COBパーティション数	6
	ポート数	1
	TCPキーブアライブ有効範囲	45
	Telnet有効	終了
	Teinetポート	9999
	WEB#	80
	最大ボーレート	921600
	ファームウェアアップグレード	終了
	サポート:コンフィギュレーションピン	終了
	サポート:Eメールトリガー	終了
	サポート:AESデータストリーム	無効
	サポート:485	終了
	サポート:921Kボーレート	終了
	サポート:HTTPサーバー	終了
	サポート:HTTPセットアップ	終了
	サポート:230Kボーレート	終了
	サポート: GPIOコミュニケーション	終了

この例では変更前に Dynamically (自動取得) の 192.168.100.7 だった IP アドレスが 192.168.100.50 に Statically (固定 IP) アドレスに変更されていることが確認できます。(電源を切っても本機内に記憶されていま す)

次に RS232C/422/485 の通信条件を設定します。前項同様 Web コンフィギュレーションから設定画面を起動し、 Serial Settings をクリックします。(Telnet やソケット通信でもシリアル側から入出力される条件となります)

★SS-LAN-シリーズのシリアル通信製品は製品側にもロータリーSW や DIPSW などの通信条件設定があります。合わせて設定願います。



ここで通信速度(Baud Rate:初期状態は製品により異なります)、データ長(Data Bits:初期状態は 8)、 フローコントロール(Flow Control:初期状態は None)、パリティ(Parity:初期状態は None)、ストッ プビット(StopBits:初期状態は 1)を変更できます。 ただしプロトコル(Protocol:初期状態は)は RS422/485 でご利用の場合も RS232 固定に設定してください。(但し一部の機器は異なります)

PackControlの EnablePacking にチェックを入れることをお勧めします。 (後述の「Pack Control について」を参照)

設定値を変更後は**OK**ボタンをクリックして新しい値を仮保存します。この段階では本機メモリ内には 書き込まれていませんのでご注意ください。

最後に Apply Settings をクリックして設定を本機メモリ内に書き込みます。書き込み終了後、前述の要 領で DeviceInstaller の ♪検索をクリックして検索し、検出された本機の情報を見ることで設定が完了し たことが確認できます。

## 4-3、Pack Control について

Internet Explorer ブラウザ等で設定した Serial Settings の中にある Pack Control について説明します。 数多くある設定スイッチの中でもこの機能は比較的使用頻度が高いです。

- □ Enable Packing
  - Idle Gap Time: 12msec

この意味は、シリアル側からのデータを TCP/IP パケットに変換する際の制御方式を決める事ができます。

□ にチェック無しの場合:内部バッファや内部タイミングにより自動的にキャラクタ単位でデータを分断 して TCP/IP に変換し LAN 側へ送出します。もし一連のデータ列がなんらかのプロトコル形態であれば分断 されることになりますので、それを受信するアプリケーションプログラムは再構築する必要があります。

□ にチェックを入れた場合:例えば 12msec だと、シリアル側からのデータが 12msec 間なければ(空白期間) それまでのデータをまとめて TCP/IP に変換し LAN 側へ送出します。

(但し内部バッファが一杯になればその時点で TCP/IP に変換し LAN 側へ送出されます)

推奨としては□にチェックを入れてパッキングを有効にする方が多くの場合、データ列の間隔が空くので1 パケット内に収まる量であれば有効にこの機能が働きます。よって受信側アプリケーションソフトにも再構 築機能が不要となります。



4-4、IPアドレス不明の場合の設定方法

DHCP サーバがまったく無い環境の場合や、固定 IP アドレスが不明になった場合、DeviceInstaller で検知できない場合は、ネットワークからは無理なのでシリアル側から設定します。本項では新たな固定 IP 設定方法と、そこからの自動 IP 設定方法を説明します。

PC 直結や、単なる HUB 経由や、本機同士を LAN で接続する場合(シリアルトンネリング)を含みます。 DeviceInstaller で MAC アドレス検索で見つかる場合もありますがセグメントの障壁が原因で、ほぼ見つかりません。

従って CPR マネージャーも使えません

本機の電源投入直後から、RS232C ポートあるいは TTL ポートから半角小文字 "x"を連続で入力します。その時の通信条件は、9600bps, 1stop, 8data, noParity です。(他の設定条件に関わず常に一定です) PC とならばクロスケーブルで接続します。以下、xxxx連打後の見本です。



指定されている通り Enter キーを押すと、色々と設定内容が羅列されますが、その最後に番号メニューが表示されます。詳しくは CD に別途マニュアル「SetupMenu」がありますが、

簡単に説明しますと、

Change Setup:

- 0 Server
- 1 Channel 1
- 3 E−mail
- 5 Expert
- 6 Security
- 7 Defaults
- 8 Exit without save
- 9 Save and exit Your choice ?

IP アドレスの設定は、0を入力します。例えば 192.168.3.10 にしたければ、

IP Address : (000) ■となりますので、192 Enter キー、168 Enter キー、3 Enter キー、10 Enter キーとします。この ようになるはずです。()内の数字は異なります。

IP Address : (000) 192.(000) 168.(004) 3.(000) 10

次に色々と表示されますが分からない所はそのまま Enter キーを押してゆくと、またメニューに戻ります。 再度確認の為に0を押して

IP Address : (192) .(168) .(003) .(010)

となれば変更できています。最後にメニューの9でセーブして終了です。本機内部のフラッシュメモリに書き込む 時間がありますので1分電源を切らずに放置してください。

これで固定 IP アドレス 192.168.3.10 になりました。DeviceInstaller で確かめてください。 DeviceInstaller のデバイス詳細のサポート:ダイナミック IP が Statically になっており固定 IP であることが分かり ます。

## さらに、 自動 IP にする場合は、DeviceInstaller の上部メニューの IP 割り当てを押してください。



特に必要がなければそのまま、次へ



時間が経過すると「終了」ボタンが出ますのでそれを押して終わりです。DeviceInstallerのデバイス詳細のサポート:ダイナミックIP が Dynamically になっています。

# 5、CPR Manager 関連の設定手順

### 5-1、仮想 COM ドライバー設定手順

CPR Manager プログラムを起動し、本機をどの仮想COMポート番号にするかをを設定します。 (特にここで DeviceInstaller を終了させる必要はありません)

設定できる COM 番号は PC が現在使用していない COM 番号です。最初に Search For Devicesをクリックして検索し、ネットワーク上に本機が検出されると下図の例のような画面が表示されます。

(もし現在使用していないにも関わらず、設定可能な COM 番号が無い場合は CD 内の共通ドキュメント.pdfの『COM ポートを設定しようと思ったとき』をご覧ください)

, <u> </u>			2- 11							
CPR Manager 4.3.0.3	1									
<u>F</u> ile <u>C</u> om Port <u>D</u>	evice <u>T</u>	ools <u>H</u> e	elp							
🏷 Add/Remove 🛛 🖓 S	ave 🖹 I	Refresh	🔎 Sea	rch For Device	s 🤤 Exclude					
Com Ports	Hide	e 🤤 🛛 Sett	ings C	om 9 Tests						
🖃 🧰 All Com Ports (10	5)		m 9 —							
🖻 🧰 Com 2 - 23		.    [	window's	Port Name:	Lantronix CPB F	Port (COM9)				
Com 2 (In	accessible	*) *)	Window's	s Device Name:	¥Device¥CprDev	vice9		Com Status: Closed		
- 🏠 Com 4 (In	accessible		window s	s Service iname:	Oprorvr			Network Status: Discon	nected	
Com 5 (In Com 6 (In	accessible accessible	*)	Reset	to Defaults	Cancel Edits	8				
🏷 Com 7 (In	accessible	j    [	🕡 Buffe	erWrites (Kee	p checked for bet	ter write performa	nce)	7 🔄 Connecti	on Timeout (in seconds)	
Com 8 (In	accessible	.)	Serve	er Reconnect				V Timeout Reconnect	0 😝 Reconnect Limi	it (0 = forever)
Com 10 (I	naccessib	le)	No N	let Close						
Com 13 (l	naccessib naccessib	le) le)	🗖 Liste	n Mode	Normal – po	rt closed after dis	connect	t 👻 TCP Port	Add To	Firewall
Com 16 (l	naccessib naccessib	le) le)	TCP	KeepAlive	7200000 🚖	KeepAlive Time (i	msec)	1000 🚔 KeepAlive Inte	erval (msec)	
Com 18 (l	naccessib	le)		0013 DTD //	) Tio DTP to I		-			
Com 13 (1	naccessib	le)	(Truf	2217 DIR()# Port)		DOD, DOK always	active	•		
			Service	Host		10001	WA firev	RNING! If the Host is on wall, then UDP ports 307	the other side of a rou 18, 43282 and 43283	<u>iter or a</u> may need to be
		-	2	192.100.5.99		10001	adde	ed to the firewall's exclu	sion list. You may expe	rience trouble
			3				Also	, some legacy device se	rvers respond on UDP	port 43283. If
			4	_			you	are unable to connect to se is the Firewall on this	a device server, one machine is blocking th	possible is port Press
			5				the	'Add Rx Port' button to a	dd this port to the Fire	wall. If the
		-	7				beer	n added and can be rem	oved by pressing this b	outton.
			8					Remove Rx Port	The Firewall is turned	<u>ON</u>
Device List										Collanse 💀
IP Address	# Porto	TOP Po	Produc	×t	τD	HW/ Address		Network Interface	Device Name	Port Namo
¥ 192 168 3 99	# FortS	10001	XPort-	08/04	ID X5	00:20:4A:B8:3C:1	F9	192 168 3 154	Device Name	FUILINGINE
					7.0					
•		1								+
									I	

この例では Search For Devicesで検索した後 COM9 を選択しています(選択できる COM 番号は現在 PCで使用していないポートです)。その後選択した IP アドレスをダブルクリックすると上段の Host と TCPPort の項目に IP と Port 番号が書込まれます。設定を変更すると画面の文字が赤くなりますが、左上 メニューの「Saveをクリックして設定が正常に保存されれば図のように文字が黒に戻ります。保存して も文字の色が赤のままの場合は IP アドレスがご使用の IP アドレス空間と異なる可能性がありますので、 前項の DeviceInstaller の IP ジョン から該当の IP を設定することで解決します。

(この図例では 192.168.3.99 のみが Com9 にアサインされていますが、複数の本機たとえば 5 台でもそれぞれの IP アドレスを上図の Service: Host 欄へ追加することができます。しかし1 だけの本機が Com9 になります。要するに 物理的に重複して同 Com 番号を使用できません。別の Com 番号に別々の IP アドレスをアサインすることはもちろ ん可能です。用途は保守メンテ用などなんらかの理由で Com9 にしておきたい場合に有効です。デバイスマネージ ャーのポートの項を見ると Lantronix と表示されているので判ります)

### 5-2、仮想 COM: RS232C シリアル通信(CTS/RTS)制御の設定方法

#### シリアルのフロー制御と TCP/IP の連携

充分に高速な受信制御が可能であればデータを垂れ流すだけのフロー制御無し通信で下記の情報は必要ありません(設定不要デフォルトのままで OK)が、もしフロー制御もしくは制御線を自在にコントロールする必要があれば下記を熟読しなければなりません。

シリアル・LAN 変換をするときに、シリアルのフロー制御を使用すれば TCP パケットの送信/受信を管理することが出来ます。 TCP/IP 通信規格には、受付可能 byte 数を TCP 接続相手に連絡するパケットがあります。

受信側に未処理データがあり、受付可能 byte 数が少ない場合送信側は送信を控える事が可能です。 LANTRONIX 社デバイスサーバは、上記パケットで TCP/IP 通信を制御しデータ喪失を防ぎます。 下記の場合に制御がかかります。

a. シリアル側に接続したデバイスが XOFF を出して、シリアル送信できないデータが溜まっている場合

b. シリアル側のデバイスが RTS ネゲートを出して、シリアル送信できないデータが溜まっている場合 (フロー制御の話ではありませんが、シリアル送信が LAN 側受信より遅く処理が間に合わな

い場合も同様です)

上記 a. b.を行うにあたり設定出来るフロー制御方式は以下の通りとなります。

項目名	内容
No Flow	フロー制御を使用しません。
Xon/Xoff	ソフトウェアフロー制御を使用します。上記 a.制御を行います。 データ送信停止は Xoff、再開するときは Xon を用います。 制御命令 Xon/Xoff はデバイスサーバ内部で処理され、デバイスサーバの向こう へは出ません。 Xoff: 0x13 (Ctrl+s) Xon: 0x11 (Ctrl+q)
Xon/Xoff pass characters to host	ソフトウェアフロー制御を使用します。上記 a.制御を行います。 データ送信停止は Xoff 、再開するときは Xon を用います。 制御命令 Xon/Xoff はデバイスサーバ内部で処理され、デバイスサーバの向こう へも出ます。
CTS/RTS	ハードウェアフロー制御を使用します。上記 b .制御を行います。
★CTS/RTS をアプリケ ーションか ら制御	「Com Port Redirector (CPR) Version.4」以降で、アプリケーションから直接 RTS/CTS 制御できます。RFC2217 にチェックします。この場合 RFC2217 に対応 した Ver6.5.0.6 以降のファームウェアを使用する必要があります。

以下に★CTS/RTSをアプリケーションから制御する為の設定を示します。(他の制御方法はメニューに 従うことで容易に実現できますが、本方式は複合的な設定が必要な為、詳細に説明します)

PC 側のアプリケーションソフトでフロー制御が必要な場合があります。(ハードが自動的に行うフロー制御 と異なり、独自プログラムで制御する場合です) 本機では仮想 COM ポートによる LAN⇔RS232C 間でサポ ートしています。先に要点をまとめると、行うことは以下の4ヶです。

- 【要点】
- Telnet Com Port Cntrl 設定をイネーブルにする------Web ブラウザより 尚、この用途以外は必ず設定をディゼーブルにして下さい。 もし誤ってイネーブルにしたままだと思わぬキャラクター文字列の返送に悩まされます。
- ② HW Flow Control Out を選択し Low にする (RTS 出力のことです) -------Web ブラウザより
- ③ **HW Flow Control In** を選択し Low にする (CTS 入力のことです) -------Web ブラウザより 但し Flow Control は None にしておくこと。
- ④ **RFC2217** にチェックする------ CPR Manager より

- 以下、IPアドレスを192.168.3.99として説明します。
- ①Internet Explorer ブラウザで http://192.168.3.99/を閲覧します。左の Channell の Serial Settings タブで、 Port Settings の Protocol を RS232C に、その右の Flow Control を None にします (BaudRate や Parity など通信設定は機器の環境と合わせて下さい)。その後 OK をクリックします。

-	
(-) 🖉 http://1	192.168.3.99/sec 👻 🗟 Cantronix XPort Device 🗙 👘 🏠 🎲
LANTRO	Firmware Version: V6.6.0.2 MAC Address: 00-20-4A-B8-3C-E9
<b>ຜ</b>	Serial Settings
Network	
Server	Channel 1
Hostlist	Disable Serial Port
Channel 1	Port Settings
Serial Settings	Protocol: RS232   Flow Control: None
Email	Baud Rate: 115200 V Data Bits: 8 V Parity: None V Stop Bits: 1 V
Trigger 1	
Trigger 2	Pack Control
Configurable Dins	Enable Packing
Apply Settings	Idle Gap Time: 12 msec 📼
Apply Defaults	Match 2 Byte Sequence: Yes I No Send Frame Immediate: Yes I No
	Match Bytes. 0x 00 (Hex) Send training Bytes. I None O One O Two
	Flush Mode
	Flush Input Buffer Flush Output Buffer
	With Active Connect:  Yes  No With Active Connect: Yes  No
	With Passive Connect:  Yes  No With Passive Connect:  Yes  No
	At Time of Disconnect:  Ves  No
	ОК

左の Channell の Connection タブで、Common Options の TelnetComPortCntrl : を **Enable** にし、その後、 OK をクリックします

		5
(-) 🖉 http://1	192.168.3.99/sec 👻 🗟 C X 🙋 Lantronix XPort Device 🗴 👘 🏠	ŝ
		Τ
	Firmware Version: V6.6.0.2	
	MAC Address: 00-20-4A-B8-3C-E9	
<b>ຜ</b>	Connection Settings	
Network		
Server	Channel 1	
Serial Tunnel	Connect Protocol	
Channel 1	Protocol: TCP -	
Serial Settings		
Connection	Connect Mode	
Email	Passive Connection: Active Connection:	
Trigger 1	Accept Incoming: Yes   Active Connect: None	
Trigger 3	Password	
Configurable Pins	Required: Ves No Start Character: 0x00 (in Hex)	
Apply Settings	Password: Modem Mode: None	•
Apply Defaults	Modem Escape Sequence Pass	
	Through: Yes No Show IF Address Alter Rinds. Yes No	
		-
	Endpoint Configuration:	
	Local Port: 10001	
	Remote Port: 0 Remote Host: 0.0.0.0	
		_
	Common Options:	
	Telnet Com Port	
	Contri:	
	Terminal Name: Use Use No LED: Blink 🔻	
	Hostist	
	Disconnect Mode	_
	Drop: Yes O No Hard Disconnect: O Yes No	
	Check EOT(Ctrl-D): O Yes O No Inactivity Timeout: 0 : 0 (mins : secs)	
	OK	
		-

注)もし通常の仮想 COM のみに戻す(RFC2217 が不要)場合、 TelnetComPort が Enable のままだとエコー文字化けします。

- • **•** £ 1 € 葠 http://192.168.3.99/sec 👻 🛽 🖒 🗙 Eantronix XPort Device ... × Firmware Version: V6.6.0.2 SONIX MAC Address: 00-20-4A-B8-3C-E9 **Configurable Pin Settings** ഹ് Network Server СР Serial Tunnel Function Direction Active Level Hostlist HW Flow Control Out 0 • Input Output Low O High Channel 1 Serial Settings General Purpose I/O Ŧ 1 Input Output Low O High Connection Email 2 HW Flow Control In • Input Output Low O High Trigger 1 Trigger 2 Trigger 3 OK **Configurable Pins** Apply Settings Apply Defaults

最後に、Apply Settings をクリックします。

~	
(+ ) /1	92.168.3.99/seo 👻 🗟 C 🗙 🧭 Lantronix XPort Device 🗙 👘 🛣 🔅
LANTRO	Firmware Version: V6.6.0.2 MAC Address: 00-20-4A-B8-3C-E9
<b>企</b>	
Network	
Server	Please wait while the configuration is saved
Serial Tunnel	The unit will reboot in order for the settings to be applied.
Hostlist	
Channel 1	
Serial Settings	
Connection	
Email	
Trigger 1	
Trigger 2	
Trigger 3	
Configurable Pins	
Apply Settings	
Apply Defaults	

左の Configurable Pins Settings が下記の通り設定されているか確認します。

② CPR Manager を起動し以下の設定を行います。CPR Manager の該当 IP アドレスの仮想 COM 設定画 面にて RFC2217 の項目にチェックを入れます。



RFC2217以外は変更しないでください。RFC2217の項目をチェックすることにより画面上の文字が黒字から赤字に変化します。 次に左上の Saveアイコンをクリックし変更を保存します。保存が完了すると画面上の文字が赤字から黒字に変化します。

CPR Manager 4.3.0.1	L					
<u>File</u> <u>Com</u> Port <u>D</u>	evice <u>1</u>	ools <u>H</u> e	elp			
🏷 Add/Remove 🛛 🖓 Si	ave 🖹 I	Refresh	Search For Dev	ices	Exclude	
Com Ports	Hide	e 👝 🛛 Sett	tines Com 9 Tests			
All Com Ports (16 Com 2 - 23 Com 2 - 23 Com 3 ( Ini Com 5 ( Ini Com 6 ( Ini Com 6 ( Ini Com 6 ( Ini Com 7 ( Ini Com 10 ( Ini Com 10 ( Ini Com 11 ( Ini Com 12 ( Ini Com 13 ( Ini Com 11 ( Ini Com 11 ( Ini Com 12 ( Ini Com 23	Constitution Co	-Cc 2) 3) 3) 3) 3) 3) 3) 3) 3) 3) 4) 4) 4) 4) 4) 4) 4) 4) 4) 4	Window's Port Name: Window's Device Nam Window's Device Nam Window's Service Nam Reset to Defaults Userver Reconnect No Net Close Listen Mode TCP KeepAlive RFC 2217 DTF (TruPort) Service Host 1 192.1683.9: 2 3 4 5 6 7 8	L H L H L H L L L L L L L L L L L L L	Lantronix CPR Port (COM9) Device#CprDevice9 _prurvr Cancel Edits checked for better write perf Normal - port closed afte 7200000 (*) KeepAlive Ti Tie DTR to DCD, DSR ak 1 TCP Port 10001	Com Status:       Closed Network Status:         Disconnected         ormance )       ?         ?       © connection Timeout (in seconds)         ?       Timeout Reconnect         ?       Provide Connection Timeout (in seconds)         ?       Timeout Reconnect         ?       Provide Connect (in timeout (in seconds)         ?       Provide Connect (in timeout (in seconds)         ?       TOP Port         Add To Firewall       Add To Firewall         ne (msec)       1000 (in the connect to a device arrow connect to the firewall to a device arrow connect to a
Device List						Collapse 🛂
IP Address	# Ports	TCP Po	Product	ID	HW Address	Network Interface Device Name Port Name
See 192.168.3.99	1	10001	XPort-03/04	×5	00:20:4A:B8:3C:E9	192.168.3.154
Settings have been sav	ed					

)テスト例:TAE	О Co	m9(例	J)Tests をク	リッ	クし、Open ボタ	ンをクリック	ノして接続テストを行いま
N CPR Manager 4.3.0.1							
File Com Port De	vice <u>T</u>	ools <u>H</u> e	≥lp				
🏷 Add/Remove 🛛 🗟 Sa	ve 🖹 F	Refresh	Search For Dev	ices	Exclude		
Com Ports	Hid	e 😑 🛛 Se	ttings Com 9 Tests	:			
All Com Ports (16	ccessible ccessible ccessible ccessible ccessible ccessible accessible accessible accessible accessible accessible accessible	() ) ) ) ) ) ) () ) () ) () (	Pen/Close Help C RS232 DCD C <sup>T</sup> High C Low C Rx Data 0 Rx EOF 0	pen IN TS DS ) © ) ©	Com Status: Clos Network Status: Disc R RTS DTR 0 0 RTS Hi DTF RTS Lo DTR	eed connected ->	
Com 19 (In Com 23 (In	accessibl	e) e)	1				đ
Device List							Collapse 🛂
IP Address	# Ports	TCP Po	Product	ID	HW Address	Network Interface	Device
See 192.168.3.99	1	10001	XPort-03/04	×5	00:20:4A:B8:3C:E9	192.168.3.154	
•	1		III		1		₽.
Status of Com Port 9 is	Closed a	nd Disconi	nected				

正常にポートがオープンできた場合、現在の COM ポートの状態が表示されます。

🔨 CPR Manager 4.3.0.1		• •							
<u>File Com Port Device Tools</u>	Help								
🏷 Add/Remove 🛛 🕞 Save 🗟 Refre	esh 🔎 Search For Devices 🛛 🤤 Exclude								
Com Ports Hide 🤤	Settings Com 9 Tests								
All Com Ports (16) Com 2 - 23 Com 2 (Inaccessible) Com 3 (Inaccessible) Com 4 (Inaccessible) Com 5 (Inaccessible) Com 6 (Inaccessible) Com 7 (Inaccessible) Com 9 Com 9 Com 10 (Inaccessible) Com 10 (Inaccessible) Com 13 (Inaccessible) Com 13 (Inaccessible) Com 14 (Inaccessible) Com 16 (Inaccessible) Com 16 (Inaccessible) Com 18 (Inaccessible) Com 18 (Inaccessible) Com 18 (Inaccessible) Com 19 (Inaccessible)	Open/Close         Help       Close       Com Status:       Open         Network Status:       Connected to 192.168.3.9         RS232       C       IN       OUT>         DCD       CTS       DSR       RTS       DTR         High       Image: Open connected to 192.168.3.9       Image: Open connected to 192.168.3.9         RS232       C	9:10001							
Com 23 (Inaccessible)	<	•							
Device List	Device List Collapse 🛂								
IP Address # Ports TCP	P Po Product ID HW Address Network Interface	Device							
See 192.168.3.99 1 1000	01 XPort=03/04 X5 00:20:4A:B8:3C:E9 192.168.3.154								
•	III	- F							
Status of Com Port 9 is Open and Con	nnected to 192.168.3.99:10001 Open/Close Test is Running								

Close ボタンをクリックしてテストを終了させるとユーザアプリケーションで COM ポートが利用可能になります。 (このテスト例を使用する必要はありません。COM ポートを起動できるのは1ヶなのでそれを終了させ競合を防いで下さい)

## 6、シリアルトンネリング設定手順

2台の本機を使用し、その途中が LAN で、両端がシリアル(RS232Cや RS485や RS422 など)での接続となります。下記にその設定手順を示します。

### 6-1、Network

下図のようにユーザ任意の固定 IP を設定します。設定している PC とセグメントが異なる場合などは最後に IP を変更するのが良いでしょう。再確認や再設定したい場合は PC も同セグメントにする必要があります。



#### **IP Configuration**

Use the following IP configuration:ラジオボタンを選択します。 IP Address に本機に設定したい任意の固定IP アドレスを入力します。 Subnet Mask にネットマスクを入力します。 Default Gateway にゲートウェイのIP アドレスを入力します。

他項目は画面スナップショット通りに設定されていることを確認してください。通常はデフォルト設定で使用します。 OK ボタンをクリックし、ボタン右にDone!が表示されるのを確認します。 Server

2 Lantronix デバイスインストーラー 4.3.0.1		×
ファイル エディット 表示 デバイス	ツール ヘルプ	
🔎 検索 🤤 無効にするデバイス 🔇 IP割当	🔮 アップグレード	
🖃 🖶 Lantronix Devices - 2 device(s)	デバイスの詳細 Webコンフィギュレーション Telne電波定	
□ 会通 ローカル エリア接続(192.168.3.154)	🛃 🖲 🛞 🕫 🕫 🖓 🚼 🖉 😌 🖓 😴	
APOrt-03/04 - firmware v6.5		
	Firmware Version: V6.5.0.7	
192.168.3.145	MAC Address: 00-20-4A-A5-3E-17	
	Server Settings	
	Server	
	Serial Tunnel Server Configuration	
	Hostist Telnet Password:	
	Serial Settings Retype Password:	
	Connection	
	Trigger 1 ARP Cache Timeout	
	Trigger 2 (secs): 000	
	Configurable Pins	
	Apply Settings Monitor Mode @ Bootup:      Enable      Disable	
	Apply Defaults CPU Performance Mode: O Low O Regular O High	
	HTTP Server Port 80	
	Config Server Port: 30718	
	MTU Size: 1400	
	UK.	
< н	ページが表示されました	
2 レディー		

全項目が画面スナップショット通りに設定されていることを確認してください。通常はデフォルト設定で使用します。

OK ボタンをクリックし、ボタン右にDone!が表示されるのを確認します。

#### **Port Settings**



■ Protocol 選択は以下に従ってください。

- ・SS-LAN-4248i-xxシリーズ、SS-LAN-232C-RJ45-DS9シリーズは、
  - RS232Cでの通信時は、<mark>RS232C</mark> を選択します。
- ・SS-LAN-232CTTLxxxx-xxシリーズ、SS-LAN-xxxxi-RJ45-DS9P-xxシリーズおよび、
- ・SS-LAN-xxxxi-RJ45-T10P-xxシリーズ、SS-LAN-xxxxi-RJ45-T6P-xxシリーズは、
  - RS232Cでの通信時は、<mark>RS232C</mark> を選択します。
    - 2線式RS485での通信時は、RS485-2wire を選択します。
    - 4線式RS485での通信時はRS485-4wireを選択しても4線式RS485通信に
  - なりませんので使用禁止とします。(Xportのバグです。2015/12現在)
- ・SS-LAN-PHCIN-3PS-xxシリーズ、SS-LAN-RLSW-3PS-xxシリーズは、
  - RS485-2wire を選択します。

■Flow Control, Baud Rate, Data Bits, Parity, Stop Bits はご利用の環境に応じて選択します。

■他項目は画面スナップショット通りに設定されていることを確認してください。通常はデフォルト設定で使用します。
 ■ お勧めします。

Pack Control の Enable Packing を Idle Gap Time:12msec にすることでシリアルから入力されたデータ列を丁度良い所で TCP/IP 化することができます。(詳細は前述「Pack Control について」参照)

そして、OK ボタンをクリックし、ボタン右にDone!が表示されるのを確認します。

#### **Connect Mode**



Accept Incoming は**Yes** を選択します。

#### Active Connection :

片側をActive Connect はAutoStart を選択します。

片側をActive Connect は<mark>None</mark> を選択します。

#### Endpoint Configuration :

Local Port

本機のポート番号(通常は 10001 ) を入力します。

Remote Port

#### 相手機のポート番号(通常は 10001 )を入力します。本機と同一にしてください。

TelnetComPort は Disable です。

Remote Host

相手機のIP アドレスを入力します。

### 他項目は画面スナップショット通りに設定されていることを確認してください。通常はデフォルト設定で使用します。

OK ボタンをクリックし、ボタン右にDone!が表示されるのを確認します。

#### Apply Settings メニューを選択すると前述の項目で設定した内容が本機に書き込まれます。

#### Apply Settings実行



以上の工程を対向する2台分行い同一ネットワーク上に接続することにより、 RS-232C、2線式 RS-485、4線式 RS485、RS422 などのシリアルトンネリングとしてご利用になれます。 7、ヒント

7-1、DeviceInstaller 検索しても IP アドレスが見つからない

本機 IP アドレスが見つからない(DeviceInstaller 内で赤字表示される等)場合の対処法や注意事項をま とめます。

●まずは再度、本機の電源を入れ直してみて下さい。DHCP 割当てに失敗している可能性があります。

●Webブラウザに IE や Chrome (問題が確認されています)を使っていませんか? Mozilla Firefox をダ ウンロードして再度試して下さい。

●他の本機や、他の PC を使って現象を、よくご確認戴き、まず本機側の問題か、環境側の問題であるか切り 分けをお願いします。

●本機出荷設定では DHCP での IP アドレス自動取得を行います。 DHCP サーバの無い LAN では検知不可能ですので、安価な SOHO 用ルータ(DHCP 機能付き)を購入し、その ルータと PC と本機を含めた LAN 環境で DeviceInstaller により[検索]して下さい。

現地など、ルータの購入・借用などが無理な場合はシリアル側からの IP 変更を試みてください。可能でしたら、 いきなり現地調整では無く、事前の調整・検査をお願いします

●本機の起動完了前に DeviceInstaller [検索]を押すと、ルータ(DHCP 機能)からの本機の IP アドレス取得を 阻害しますので、本機起動を数秒間待って下さい。

●DeviceInstaller 検索は UDP ブロードキャストを使いその応答にも UDP を使用します。しかし UDP はパケット 衝突で失われる可能性がありますので本機が見つからない場合は再度[検索]を押して下さい。 UDP パケットは 衝突で失われるため一度に検索出来る台数には限りがあります。目安としましては 10 台程度です。

●PCと本機間に HUB を入れてお試し下さい。例えば PC 側がギガイーサネットでクロスケーブルご使用の場合、 ネゴシエーションが正常に行われない可能性があります。

●セキュリティ関係のソフトが UDP ブロードキャストを遮断している事もあり得ます。試しにファィヤーウォール 機能、またはその他セキュリティソフトを止めてからご使用下さい。

●PCと本機の間にルータが入り、ネットワーク系が異なってしまいますと検索のためのパケットが届きません。 つまりPCと本機が同ーネットワーク内で接続されている必要があります。

●DeviceInstaller 「ツール」→「オプション」項の LAN アダプタ表示が間違いないかを確認下さい。

😰 オプション		×
ネットワーク Customization		
以下のネットワークアダプタを使	用します	
名前	₽₽ドレス	サブネットマスク
☑ ローカル エリア接続	192.168.100.2	255.255.255.0
ОК	キャンセル	Apply

↑正常例です。

●本機が DeviceInstaller の検索のパケットを受けたかは、XPort の場合は LED で目視出来ます。もし ActiveLED 点滅が無ければ検索パケットが出ていないか、届いていない事になります。PC 設定やネットワーク 環境をご確認下さい。 ●PC と本機の IP アドレスが異なる IP アドレス系統で、かつ、本機にデフォルトゲートウェイ設定が入っている 場合、残念ながら検出できません。検索パケットの返事がゲートウェイ IP 向けに出てしまいます。本機起動時 に自身が出す ARP を WireShark (ポピュラーなフリーソフト)などのパケットの中身を見られるソフトで観測する と本機の IP アドレスが分かります。次に PC の IP アドレス系統を本機側に合わせると DeviceInstaller で検索 可能となります。

●コマンドプロンプト操作によって仮設定 IP アドレスにより本機を設定することも出来ます。 ここでは仮 IP を 192.168.0.100 とします。

Windows 系の場合:

> arp -s 192.168.0.100 00-20-4A-XX-XX
 UNIX、Linux 系の場合(root で行う):
 > arp -s 192.168.0.100 00:20:4A:XX:XX:XX

telnet コマンドで本機にアクセスします。 先に指定した仮 IP アドレスに対して、ポート番号を 1 を 指定して Telnet 接続します。 このコマンドは Windows 系も UNIX、Linux 系も同じです。 > telnet 192.168.0.100 1

ポート1を指定しても実際には接続できませんが、 次動作に移るための正しい操作です。

今度はポート番号 9999 を指定して、Telnet 接続を行います。 > telnet 192.168.0.100 9999

Telnet 接続は DeviceInstaller の右上タブや、フリーソフトの TeraTerm や、Dos コマンドから行うことができます。ポート番号に注意してください。9999 は SetupMode です。シリアル接続時は 10001 です。

すると、画面上に Press Enter for Setup Mode と表示されます。 ここで Enter キーを押すと Setup メニューに入ることができます。 Setup メニューでは、本機の設定を変更することが可能です。 このメニューについては、弊社 HP 上の資料 「セットアップメニュー説明(日本語)」をご参照下さい。 SetupMenu.pdf

以上を行っても本機が見つからない場合は、LAN からアクセスする方法は残されておりませんが、本機のシリ アル側から IP アドレス設定を確認、再設定して下さい。次項参照。

# 7-2、シリアルから IP アドレスを見つける方法

なんらかの問題で LAN インタフェースの IP アドレスが DeviceInstaller や CprManager で見つからないこ とがあります。 その場合の対処方法を下記に説明します。 RS232C コネクタと PC をクロスケーブ ルで接続し 9600bps, 8bitData, 1Stop, NoParity に設定(本機 DSW-1の通信設定とは無関係)したターミナルソフ ト(Windows 標準のハイパーターミナルや TeraTerm など)を準備します。 本機の電源投入後 1 秒以 内に xxx(半角小文字エックス)を複数連打すると、下記のメッセージが表示され Enter(改行)キー を待つ状態になります。

🖳 Tera T	erm – C	ом5 ут				
ファイル(E)	編集(E)	設定(S)	באר-חלעב	ウィンドウ(W)	ヘルプ(円)	
						<u>^</u>
MAC address	s <b>80284AC</b>	<del>77900</del>				
Software ve	ersion V6	.6.0.2 (0	80926) XPTEXE			
Press Enter	r for Set	up Mode				
						~
すぐに、Ente	er キーを打	甲すと、下	記のメニューカ	「表示されます	す。	
🖳 Tera T	ierm – C	OM5 VI	Г			
ファイル(E)	編集(E)	設定(S)	בארם−µ( <u>0</u> )	ウィンドウ(図	) ヘルプ(円)	
Change Set	up:					<u>~</u>
0 Server						
1 Channe	1					
3 E-mail						
5 Expert						
6 Securi	ty					
7 Default	ts					
8 Exit w	ithout sa	ve				
9 Save a	nd exit		Your choice	?		~

IP 変更ならば0を、初期化は(主な初期化値は、IP 自動、シリアルトンネリング設定はキャンセル、9600bps、1Stop、 NopParityです。ご注意下さい)7を、シリアル通信条件は1を選択します。 詳細は SetupMenu.pdf をご覧下さい。

### 7-3、IPアドレスを決定する場合の注意点

本機に IP アドレスを設定する場合、下記からお選び下さい。

(1) プライベート IP アドレス(内部のネットワークアドレスとして自由に利用できる)

クラス C 192.168.0.1~192.168.255.254 サブネットマスク 255.255.255.0

クラス B 172.16.0.1~172.31.255.254 サブネットマスク 255.255.0.0

クラスA 10.0.0.1~10.255.255.254 サブネットマスク 255.0.0.0

※小規模ネットワークではクラスCをご使用下さい。

(2) お客様が使用権限を所持しておられる IP アドレス

その他注意事項

・固定 IP アドレスの場合、最初の数字は「1~223」までの範囲が設定可能です。

・自身の IP アドレスにはブロードキャストアドレス「255.255.255」は使用できません。

・ホスト部が全て「0」はオール 0 ブロードキャスト、若しくは全て「1」の値はディレクテッド・ブロードキャストとして 予約済みであるため、使用できません。

・第4オクテット目に「0」と「255」は設定出来ません。

・アドレス変換されたルータの内側は多くの場合プライベート IP アドレスが与えられています。

ここにおいて本機にグローバル IP アドレスを与えても外部から本機とは通信出来ません。

・ご使用のネットワークで使用可能な IP アドレスを与えて下さい。

7-4、仮想 COM ポートを設定しようとしたが出来ない

実際には接続されていないのに、既に全てが使用されている印がついている場合があります。 その不要な COM ポートを削除する方法が下記です。

未使用にもかかわらず下図のように CPR マネージャの Com ポートの表示がグレーで仮想 Com ポート設定 出来ない場合、Windows 内で何らかの形で設定されてしまっていることを意味します。

CPR Manager 4.3.0.3	;	-			_		x
<u>File</u> <u>Com</u> Port <u>D</u> e	evice <u>T</u>	ools <u>H</u> e Refresh	lp 9 Search For Devi	ices 🦳 Ex	clude		
Com Ports		Hide 🤤	Com Port List Ge	ieneral Tests			
All Com Ports (11) 	ccessible ccessible ccessible ccessible ccessible ccessible ccessible accessible	) E )) )) )) e) •	Com Port Com 3 (Inar Com 4 (Inar Com 5 (Inar Com 5 (Inar Com 7 (Inar Com 9 (Inar Com 9 (Inar	accessible) accessible) accessible) accessible) accessible) accessible) accessible)	(P Addres	3S •	•
Device List					Co	ollapse	e 🔽
IP Address	# Ports	TCP Po	Product		ID	HW A	ddres
Ready							•
							:

もし、そのようなグレー色のComポートを使いたい場合はデバイスマネージャに入り該当設定を消去す る必要があります。 上図ではCom 3、4、5、6、、などが使用中であり、仮想COMを編集出来ない状態と なっています。例としてCom 4の既存設定を消す手順を以下に記します。一旦CPRマネージャを終了しま す。

①まず「コントロールパネル」->「システム」->「デバイスマネージャー」に進みます。 あるいは旧0/Sなら「マイコンピュータ」->「マウス右クリック」->「プロパティ」->「ハードウェア タブ」->「デバイスマネージャ」に進みます。

🛃 デバイス マネージャー
ファイル( <u>E</u> ) 操作( <u>A</u> ) 表示(⊻) ヘルプ( <u>H</u> )
🔺 🚔 fuji-DeskTop
BFRD4G RAM Disk Driver
▷ 🔐 DVD/CD-ROM ドライブ
▷ · 🕞 IDE ATA/ATAPI コントローラー
▶ 🗟 イメージング デバイス
▶ ■ ディスプレイ アダプター
▶ ● ネットワーク アダプター
› · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
▷ 🛄 プロセッサ
▷ 💷 ポータブル デバイス
▷ 🖑 マウスとそのほかのポインティング デバイス
▷ · ᇦ ユニバーサル シリアル バス コントローラー

②通常、デバイスマネージャ画面に表示される中からComを選び「マウス右クリック」→「削除」を選 択すれば、Comを削除することが出来ます。 しかし、上図にはComが表示されていません。これらのCom は「使用中ではあるが、接続されていないため非表示」の状態となっております。 削除するためには、非表示のポートを表示する必要があります。

③デバイスマネージャ非表示のポートを表示させるためには、一旦コマンドプロンプトを使って、環境 変数devmgr\_show\_nonpresent\_devicesを1にした後、デバイスマネージャを開く必要があります。 (コマンドプロンプトは多くの場合「すべてのプログラム」->「アクセサリ」内フォルダにあります) 管理者として実行すること(マウス右クリックで選択)

- 0

×

コマンドは以下の通りとなります。

【コマンド】

> set devmgr\_show\_nonpresent\_devices=1

> start devmgmt.msc

🚥 コマンド プロンプト

C:¥Documents and Settings¥14168>set devmgr\_show\_nonpresent\_devices=1

C:¥Documents and Settings¥14168>start devmgmt.msc

C:¥Documents and Settings¥14168>

(上図の ¥Documents and Settings¥14168> は PC 環境により異なります)

④コマンドを入力し終えると、デバイスマネージャが開きますので「表示」->「非表示のデバイスの表示」をクリックします。 すると、非接続の使用中ポートが表示されるようになりますので、

Com 7を 選択し、「右クリック」->「削除」で消去します。 X 🚔 デバイス マネージャー ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H) 🧼 🏟 📅 🚺 🖬 🞼 ▶ □ プロセッサ ۰ ▷ 💷 ポータブル デバイス ⊿ - ‴ デート (COM と LPT) USB Serial Port (COM10) — USB Serial Port (COM101) — USB Serial Port (COM103) USB Serial Port (COM104)

(もし貴方が不要と考えるCOM番号があるならば、ついでに全て削除してください)

⑤削除が正常に完了すると、CPRマネージャでグレー表示だったCom 7が使用可能になります。 まずはとりあえず CPR マネージャを起動すると、下図のように肝心の COM4 はまだ表示されませんが、

♦ CPR Manager 4.3.0.	3				(	
<u>File C</u> om Port <u>D</u> e	evice <u>T</u>	iools <u>H</u> e	lp			
🏷 Add/Remove 🛛 🔚 Sa	ave 🖹 F	Refresh 💡	Search For D	evices   🤤 E	xclude	
Com Ports		Hide 🤤	Com Port List	General Test	S	
🖃 🧰 Com 3 - 23			Com Port		IP Addre	ss 🔺
🔯 Com 3 (Ina 🔯 Com 5 (Ina	accessible	•)	🔰 🔯 Com 3 (	(Inaccessible)		
👘 Com 6 (Ina	accessible		Com 5 (	(Inaccessible) (Inaccessible)		
- 🔯 Com 7 (Ina	accessible	e)	© Com 7 (	(Inaccessible)		
Com 8 (Ina	accessible	*) *)	🔰 🖗 Com 8 (	(Inaccessible)		
— 🔯 Com 10 (Ir	naccessibl	le)	Com 9 (	(Inaccessible) (Inaccessible)		
Com 11 (Ir	naccessibl	le) ▼	↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	(Indecession		•
Device List					С	ollapse 🔽
IP Address	# Ports	TCP Po	Product		ID	HW Addres
•				r		4
No Devices Were Found						
上部メニューより「Com」	Port」->	ΓAdd and	Remove」を選択	尺すると		
上部メニューより「Com」 今 CPR Manager 4.3.0.	Port」→ 3	FAdd and	Remove」を選択	尺すると		
上部メニューより「Com」 へ CPR Manager 4.3.0. <u>File Com Port D</u>	Port」-> 3 evice <u>I</u>	ΓAdd and [ools <u>H</u> €	Remove」を選択 elp	尺すると		
上部メニューより「Com」 へ CPR Manager 4.3.0. <u>File Com Port D</u> をAdd, <u>Save Sett</u>	Portj -> 3 evice <u>I</u> ings	ΓAdd and [ools <u>H</u> e	Remove」を選打 elp Ctrl-	Rすると +S <b>⊜</b> E		
上部メニューより「Com」 今 CPR Manager 4.3.0. <u>File</u> <u>Com Port</u> <u>D</u> ② Add, <u>Save Sett</u> Com Port <u>Export to</u>	Portj -> 3 evice <u>1</u> ings Com Port	ΓAdd and [ools <u>H</u> e	Remove」を選択 elp Ctrl-	Rすると +S ⊜E Test	ixclude	
上部メニューより「Com   へ CPR Manager 4.3.0. <u>Eile Com Port D</u> をAdd, Save Sett Com Port Export to <u>Eine</u>	Portj -> 3 evice <u>I</u> ings Com Port om Com P	FAdd and fools <u>H</u> e Config file Port Config	Remove」を選択 elp Ctrl- e file	Rすると +S ⊖ E Test	xclude s IP Addre	
上部メニューより「Com   へ CPR Manager 4.3.0. <u>File</u> <u>Com Port</u> <u>D</u> ② Add, <u>Save Sett</u> <u>Com Port</u> <u>Export to</u> <u>Import fro</u> <u>A</u> dd and R	Portj -> 3 evice <u>I</u> ings Com Port om Com F	「Add and [ools <u>H</u> e : Config file Port Config	Remove」を選打 elp Ctrl- e file	Rすると +S Test ible)	Exclude s IP Addre	
上部メニューより「Com   ◆ CPR Manager 4.3.0. <u>File</u> <u>Com Port</u> <u>D</u> ◆ Add, <u>Save Sett</u> Com Port <u>Export to</u> <u>Import fro</u> <u>Add and R</u> <u>R</u> efresh Vite	Portj -> 3 evice <u>I</u> ings Com Port om Com F emove iew of Cor	FAdd and fools <u>H</u> e Config file Port Config m Ports or	Remove」を選択 elp Ctrl- file n the System	F5 ible)	Exclude s IP Addre	
上部メニューより「Com   ◆ CPR Manager 4.3.0. <u>File</u> <u>Com Port</u> <u>D</u> ◆ Add, <u>Save Sett</u> Com Port <u>Export to</u> <u>Import fro</u> <u>Add and R</u> <u>Refresh Vi</u> <u>Cancel All</u>	Portj -> 3 evice <u>I</u> ings Com Port om Com P emove iew of Cor Edits	「Add and [ools <u>H</u> € Config file Port Config m Ports or	Remove」を選打 elp Ctrl- e file the System Ctrl-	F5 ible) FU ible)	ixclude s IP Addre	
上部メニューより「Com ◆ CPR Manager 4.3.0. File Com Port D ◆ Add, Save Sett Com Port Export to Import fro Add and R Refresh Vi Cancel All Release P	Portj -> 3 evice <u>1</u> ings Com Port om Com P emove iew of Cor Edits ort	「Add and [ools <u>H</u> e Config file Port Config m Ports or	Remove」を選打 elp Ctrl+ e file n the System Ctrl+	F5 ible) FU ible) ible) ible) ible) ible)	Exclude s IP Addre	
上部メニューより「Com   ◆ CPR Manager 4.3.0. <u>File</u> <u>Com Port</u> <u>D</u> ◆ Add, <u>Save Sett</u> Com Port <u>Export to</u> <u>Import fro</u> <u>Add and R</u> <u>Refresh Vi</u> <u>Cancel All</u> <u>Release P</u> <u>Close</u>	Portj -> 3 evice <u>I</u> ings Com Port om Com P emove iew of Cor Edits ort	FAdd and Tools <u>H</u> e Config file Port Config m Ports or	Remove」を選打 elp Ctrl+ file the System Ctrl+	F5 ible) FU ible) ible) ible) ible) ible) ible)	ixclude s IP Addre	
上部メニューより「Com   ◆ CPR Manager 4.3.0. <u>File</u> <u>Com Port</u> <u>D</u> ◆ Add, <u>Save Sett</u> Com Port <u>Import from</u> Add and R <u>Refresh Vi</u> <u>Cancel All</u> <u>Release P</u> <u>Close</u> <u>Close</u>	Portj -> 3 evice <u>I</u> ings Com Port om Com P temove iew of Cor Edits ort	FAdd and [ools <u>H</u> e Config file Port Config m Ports or [e)	Remove」を選打 elp Ctrl- e file the System Ctrl-	F5 ible) FU ible) ible) ible) ible) ible) ible) ible) ible)	Exclude s IP Addre	
上部メニューより「Com   ◆ CPR Manager 4.3.0. <u>File</u> <u>Com Port</u> <u>D</u> ◆ Add, <u>Save Sett</u> <u>Com Port</u> <u>Import from</u> <u>Add and R</u> <u>Refresh Vi</u> <u>Cancel All</u> <u>Release Process</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Com 11 (from)</u>	Portj -> 3 evice <u>I</u> ings Com Port om Com P cemove iew of Cor Edits ort	FAdd and                  [ools <u>H</u> e                  Config file                 Port Config                 m Ports or                 le)	Remove」を選打 elp Ctrl- e file the System Ctrl-	F5 ible) FU ible) ible) ible) ible) ible) ible) ible)	ixclude s IP Addre	
上部メニューより「Com   ◆ CPR Manager 4.3.0. <u>File</u> <u>Com Port</u> <u>D</u> ◆ Add, <u>Save Sett</u> Export to Import fro Add and R <u>Refresh Vi</u> Cancel All Release <u>P</u> Close Close Com 12 (In Device List	Portj -> 3 evice <u>I</u> ings Com Port om Com P temove iew of Cor Edits ort	FAdd and                  [ools <u>H</u> e                  Config file                 Port Config                 m Ports or                 le)	Remove」を選打 elp Ctrl+ e file the System Ctrl+	Rすると +S 「Test ible) F5 ible) ible) ible) ible) ible) ible) ible)	Exclude s IP Addre	ss A
上部メニューより「Com I ◆ CPR Manager 4.3.0. <u>File</u> <u>Com Port</u> <u>D</u> ◆ Add, <u>Save Sett</u> <u>Com Port</u> <u>Import from</u> <u>Add and R</u> <u>Add and R</u> <u>Refresh Vi</u> <u>Cancel All</u> <u>Release P</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Com 12 (here the set the </u>	Portj -> 3 evice <u>I</u> ings Com Port om Com P emove iew of Cor Edits ort haccessib haccessib	[Add and         [ools <u>H</u> e         Config file         Port Config         m Ports or         [e)         [e)         TCP Po	Remove」を選打 elp Ctrl+ e file the System Ctrl+	F5 ible) FU ible) ible) ible) ible) ible) ible)	IP Addre	SS A SS A Sollapse V HW Addres
上部メニューより「Com   ◆ CPR Manager 4.3.0. <u>File</u> <u>Com Port</u> <u>D</u> ◆ Add, <u>Save Sett</u> <u>Com Port</u> <u>Import from</u> <u>Add and R</u> <u>Refresh Vi</u> <u>Cancel All</u> <u>Release Pri</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u>	Portj -> 3 evice <u>I</u> ings Com Port om Com P temove iew of Cor Edits ort haccessib maccessib	ГAdd and             [ools <u>H</u> e            Config file            Port Config             m Ports or             Ie)             TCP Po	Remove」を選打 elp Ctrl- file the System Ctrl-	F5 ible) FU ible) ible) ible) ible) ible) ible)	iver line line line line line line line line	SS A SS A SS A Sollapse V HW Addres
上部メニューより「Com   ◆ CPR Manager 4.3.0. <u>File</u> <u>Com Port</u> <u>D</u> ◆ Add, <u>Save Sett</u> Export to Import fro Add and R <u>Refresh Vi</u> Cancel All Release <u>P</u> Close Close Com 11 (In Device List IP Address	Portj -> 3 evice <u>I</u> ings Com Port om Com P emove iew of Cor Edits ort maccessib # Ports	[ools       He         [ools       He         Config file       Port Config         m Ports or       Image: Second S	Remove」を選打 elp Ctrl+ file the System Ctrl+	Rすると +S Test ible) F5 ible) ible) ible) ible) ible) ible) ible)	iver in the second seco	ss
上部メニューより「Com I ◆ CPR Manager 4.3.0. <u>File</u> <u>Com Port</u> <u>D</u> ◆ Add, <u>Save Sett</u> <u>Export to</u> <u>Import fro</u> <u>Add and R</u> <u>Refresh Vi</u> <u>Cancel All</u> <u>Release P</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u> <u>Close</u>	Portj -> 3 evice <u>I</u> ings Com Port om Com P emove iew of Cor Edits ort maccessib # Ports III	[ools       He         [ools       He         Config file       Port Config         m Ports or       Ie)         Ie)       ▼         TCP Po	Remove」を選打 elp Ctrl+ file the System Ctrl+	Rすると +S 「Test ible) F5 ible) ible) ible) ible) ible) ible)	IP Addre	SS A SS A Collapse V HW Addres

図のような	いたきな表が	衣示されよ	9。 ここから		97 EV11	<u>, nr 5</u>	
Com Ports			-				
Com1 Com2	☑ Com21 ☑ Com22 ☑ Com23	✓ Com41 ✓ Com42 ✓ Com43	Com61	✓ Com81 ✓ Com82 ✓ Com83	Com101		om121 ▲ om122
Com4 Com5	Com24	✓ Com44 ✓ Com45	Com64	Com84	Com104		om 124 om 125
Com6 Com7	✓ Com26 ✓ Com27	✓ Com46 ✓ Com47	☑ Com66 ☑ Com67	✓ Com86 ✓ Com87	✓ Com106 ✓ Com107		om 126 om 127
Com8 Com9	✓ Com28 ✓ Com29	✓ Com48 ✓ Com49	Com68	✓ Com88 ✓ Com89	Com108		om 128 om 129
/  Com10    Com11    Com12	Com30	✓ Com50 ✓ Com51	[√] Com70 [√] Com71 [√] Com72	Gom90 Gom91 Gom92	✓ Com110 ✓ Com111		om 130 om 131 om 132
] Com13 ] Com14	✓ Com33 ✓ Com34	✓ Com53 ✓ Com54	✓ Com73 ✓ Com74	✓ Com93 ✓ Com94	✓ Com113 ✓ Com114		om 133 om 134
] Com15 ] Com16	✓ Com35 ✓ Com36	✓ Com55 ✓ Com56	✓ Com75 ✓ Com76	✓ Com95 ✓ Com96	✓ Com115 ✓ Com116		om 135 om 136
1 Com17 ] Com18 ] Com19	<ul> <li>✓ Com37</li> <li>✓ Com38</li> <li>✓ Com39</li> </ul>	✓ Com57 ✓ Com58 ✓ Com59	✓ Com77 ✓ Com78 ✓ Com78	<ul> <li>✓ Com97</li> <li>✓ Com98</li> <li>✓ Com99</li> </ul>	[√] Com117 [√] Com118 [√] Com119		om 137 om 138 om 139
7] Com20	Com40	√ Com60	Com80	👿 Com 100	✓ Com120		om 140 +
OK	Cancel		neck (Range)	t	0 200 🚍		
OK Select Al ると、下国 〉CPR Ma	Cance I Select N 図のように CC nager 4.3.0.	Lon Ur M4 が現れま 3	ncheck (Range	) 1 🔶 t	o 256 👳		
OK Select Al ると、下国 CPR Ma <u>F</u> ile <u>C</u> の Add/Rei	Cance I Select N 図のように CC nager 4.3.0. om Port Do move F Sa	Ion Ur IM4 が現れま 3 evice <u>T</u> oo ave <u>2</u> Ref	hcheck (Range stations) bls <u>H</u> elp fresh P Se	earch For Dev	o 256 👳	lude	
OK Select Al ると、下国 CPR Ma File <u>C</u> Add/Rei Com Ports	Cance I Select N 図のように 00 nager 4.3.0 om Port <u>D</u> move <b>F</b> Sa	lon Ur M4 が現れま 3 evice <u>T</u> oo ave <u></u> Ref	hcheck (Range static ols <u>H</u> elp fresh $P$ Se Hide $\bigcirc$ Co	earch For Dev	o 256 👳	lude	
OK Select Al ると、下臣 CPR Ma Eile Co Add/Rei Com Ports	Cancel I Select N I Select	Image: Second	hcheck (Range state) hcheck (Range bls <u>H</u> elp fresh $>$ Se Hide $\bigcirc$ Co	earch For Dev om Port List com Port Com 3 (Ina Com 3 (Ina Com 5 (Ina Com 5 (Ina Com 5 (Ina Com 6 (Ina Com 7 (Ina Com 8 (Ina Com 9 (Ina	ices 👄 Exc ices 👄 Exc icessible) iccessible) iccessible) iccessible) iccessible) iccessible) iccessible) iccessible)	lude Addre	
OK Select Al ると、下臣 CPR Ma Eile <u>C</u> Add/Rei Com Ports	Cance Cance Cance Conce C	Inn Ur M4 が現れま 3 evice <u>T</u> oo ave <u></u> Ref accessible) accessible) accessible) accessible) accessible) accessible) accessible)	ncheck (Range sす。 bls <u>H</u> elp fresh Se Hide Co Co Co Co Co Co Co Co Co C	earch For Dev om Port List com Port Com 3 (Ina Com 4 (Ne Com 5 (Ina Com 5 (Ina Com 7 (Ina Com 8 (Ina Com 9 (Ina	ices 👄 Exc ices 👄 Exc icessible) iccessible) iccessible) iccessible) iccessible) iccessible) iccessible)	lude P Addre	
OK Select Al ると、下臣 CPR Ma Eile QC Add/Rei Com Ports	Cancel Cancel Select N Select N Select N ager 4.3.0. Dom Port Dumove Select move Select Com 3 - 22 Com 3 (Ina Com 4 (New Com 5 (Ina Com 5 (Ina Com 7 (Ina Com 9 (Ina Com 9 (Ina Com 10 (Ina Com 11 (Ina Com 11 (Ina)	Image: Second	hcheck (Range st. bls <u>H</u> elp fresh Hide Hide Co	earch For Dev om Port List om Port List Com 3 (Ina Com 3 (Ina Com 5 (Ina Com 5 (Ina Com 6 (Ina Com 8 (Ina Com 9 (Ina	ices 👄 Exc ices 👄 Exc icessible) iccessible) iccessible) iccessible) iccessible) iccessible) iccessible)	lude Addre	ss ^
OK Select Al ると、下国 CPR Ma Eile Co Add/Rei Com Ports	Cancel Select N Select N Solution ager 4.3.0. The port Dumove Selection move Selection Com 3 - 22 Com 3 (Inal Com 3 (Inal Com 5 (Inal Com 5 (Inal Com 6 (Inal Com 7 (Inal Com 9 (Inal Com 9 (Inal Com 10 (Inal Com 11 (Inal)	M4 が現れま 3 evice <u>T</u> oo ave <u></u> Ref accessible) accessible) accessible) accessible) accessible) accessible) accessible) accessible) accessible) accessible)	Treck (Range)	earch For Dev om Port List om Port List Com 3 (Ina Com 3 (Ina Com 5 (Ina Com 5 (Ina Com 6 (Ina Com 8 (Ina Com 9 (Ina Com 9 (Ina	ices 👄 Exc ices 🁄 Exc ices sible) iccessible) iccessible) iccessible) iccessible) iccessible) iccessible)	Addree	SS A SS A Sollapse V HW Addres
OK Select Al ると、下臣 CPR Ma Eile CC Add/Rei Com Ports	Cancel Select N Select N	Image: Content of Co	Teck (Range)	earch For Dev om Port List om Port List Com 3 (Ina Com 3 (Ina Com 5 (Ina Com 5 (Ina Com 6 (Ina Com 8 (Ina Com 9 (Ina Com 9 (Ina	ices ices ices ices ices ices icessible) iccessible iccessible) iccessible	Addree C	SS A SS A Collapse V HW Addres

ここからルーペアイコン(Search For Devices)を押して接続された SS-LAN-4248i-2 を例として探し てみます。

CPR Manager 4.3.0.3						
<u>F</u> ile <u>C</u> om Port <u>D</u> ev	/ice <u>T</u> ools	<u>H</u> elp	)			
🏷 Add/Remove 🛛 🔓 Sav	ve 🖹 Refres	h 🔎	Search For D	evices 🛛 🤤 E	xclude	
Com Ports	Hide	e 😑	Com Port List			
📄 🧰 Com 3 - 22		*	Com Port		IP Addre	ess 🔺
Com 3 (Inac	cessible)		🏹 🔯 Com 3 (	(Inaccessible)		
Com 4 (New	cessible)	=	🔰 🔯 Com 4 (	(New)		
Com 6 (Inac	cessible)		🛛 🔯 Com 5 (	(Inaccessible)		
🏷 Com 7 (Inac	cessible)			(Inaccessible) Transcossible)		
👘 💓 Com 8 (Inac	cessible)		>Com 7 (	(Inaccessible)		
Com 9 (Inac	cessible)		Com 9 (	Inaccessible)		-
Com 10 (Ina	ccessible)	-	< III			+
Device List					C	Collapse 🔽
IP Address	# Ports TCP	Po F	Product		ID	HW Addres
Sec. 192.168.100.5	1 10001	1 >	<port=03 04<="" th=""><th></th><th>×5</th><th>00:20:4A:BI</th></port=03>		×5	00:20:4A:BI
<						F
Ready				Modified		

## この Com4 を選んで、、

N CPR Manager 4.3.0.3						- 0 X
<u>File Com Port Device Too</u>	ols <u>H</u> e	łp				
🏷 Add/Remove 🛛 🔓 Re	fresh 🍦	Search For Devices	🖨 Exclude			
Com Ports Hide 🧲	Settir	ngs				
🖃 🗁 All Com Ports (116) 🛛 🗸	Con	n 4 (New)				]
Com 3 - 22 Com 3 (Inaccessible Com 4 (New) Com 5 (Inaccessible Com 6 (Inaccessible Com 7 (Inaccessible Com 8 (Inaccessible Com 9 (Inaccessible Com 10 (Inaccessible Com 10 (Inaccessible		Window's Port Name:       Com Status:       Closed         Window's Device Name:       Network Status:       Disconnected         Reset to Defaults       Cancel Edits         Image: Buffer Writes (Keep checked for better write performance)       7       Connection Timeout ( Image: Timeout Reconnect         Image: No Net Close       No Net Close       Image: Timeout Reconnect       Image: Timeout Reconnect				ion Timeout (
Com 12 (Inaccessibl Com 13 (Inaccessibl Com 14 (Inaccessibl Com 15 (Inaccessibl Com 16 (Inaccessibl Com 16 (Inaccessibl		Listen Mode	Normal - port closed after disconnect  TCP Port  TCP Port  TCP Port  TCP Port  TCP Port  KeepAlive Interval (msec)			
Com 17 (Inaccessibl Com 18 (Inaccessibl Com 19 (Inaccessibl Com 20 (Inaccessibl Com 21 (Inaccessibl Com 22 (Inaccessibl Com 23 - 42 Com 44 - 63 Com 44 - 85	S	RFC 2217         DTR (In):           (TruPort)         DTR (In):           ervice         Host           1	Tie DTR to D	I TCP Port C TCP Port A TCP Port	e ARNING! If the Host is on ewall, then UDP ports 307 Ided to the firewall's exclu	the other s 718, 43282 a sion list. Yo ervers respo
						4
Device List						Collapse 🛂
IP Address # Ports T	TCP Po	Product	ID	HW Address	Network Interface	Device Name
See 192.168.100.5 1 1	10001	×Port-03/04	X5	00:20:4A:B6:DD:25	192.168.100.3	
•		III				4
					Modified	

CPR Manager 4.3.0.3	
File Com Part Davies Teels Halp	
<u>File Comport Device Tools H</u> elp	Daviera 🧑 Fuel de
Add/Remove 📊 Save 🖻 Refresh 🎾 Search For D	Devices 😅 Exclude
Com Ports Hide G Settings	
All Com Ports (116)	
Window's Port Nam	ne:
Com 4 (New) Window's Device N	Name: Com Status: Closed
Com 5 (Inaccessible	
Com 6 (inaccessible Reset to Default	ts Cancel Edits
	(Keep checked for better write performance) 7 🔄 Connection Timeout (
Com 9 (Inaccessible	ect 🔍 Timeout Reconnect 🛛 🚔 Rec
Com 10 (Inaccessio)	
Com 12 (Inaccessibl	News Load - feed - feed - TOB Deat
Com 13 (Inaccessibl	
Com 15 (Inaccessib)	7200000 🖨 KeepAlive Time (msec) 🛛 1000 🖨 KeepAlive Interval (msec)
Com 16 (Inaccessib)	
Com 17 (Inaccessibl RFC 2217 D	DTR (In): Tie DTR to DCD, DSR always active
Com 19 (Inaccessib)	
Com 20 (Inaccessibl	! TCP Port WARNING! If the Host is on the other si
Com 21 (Inaccessibl 1 192.168.1	100.5 [10001 added to the firewall's exclusion list. Yo
⊕ Com 23 - 42	
E Com 44 - 63	Also, some legacy device servers respo
	4 m
Device List	Collapse 🛂
IP Address # Ports TCP Po. Product	ID HW Address Network Interface Device Name
See 192.168.100.5 1 10001 ×Port-03/04	X5 00:20:4A:B6:DD:25 192.168.100.3
٠	F
	Modified
Service Host へ登録されました。ここから上.	メニューのヤーブを押して確定させると.
Save Settings	
Are you sure you want to save?	
(はい(Y) いいえ(N)	
(はい(Y) いいえ(N)	
はい(Y) いいえ(N)	

下の IP Address 192.168.100.5 をダブルクリックすると、

Terr Manager 4.3.0.3			and the second s	
<u>F</u> ile <u>C</u> om Port <u>D</u> evice <u>T</u> ools	<u>H</u> elp			
🏷 Add/Remove 🛛 🖓 Save 🖻 Refre	esh 🔑 Search For Devices	🖨 Exclude		
Com Ports Hide 🤤	Settings Com 4 Tests			
- Com Ports (116)	Com 4			
Com 3 - 22 Com 3 (Inaccessible Com 4 Com 5 (Inaccessible Com 6 (Inaccessible Com 7 (Inaccessible Com 8 (Inaccessible Com 9 (Inaccessible Com 9 (Inaccessible Com 10 (Inaccessible Com 11 (Inaccessible Com 11 (Inaccessible Com 20 Com 11 (Inaccessible) Com 20	Window's Port Name:       Lantronix CPR Port (COM4)         Window's Device Name:       *Device*CprDevice4         window's Service Name:       Com Status:         Disconnecte       Disconnecte         Image: Listen Mode       Normal - port closed after disconnect         TCP KeepAlive       7200000 © KeepAlive Time (msec)         1000 © KeepAlive       Normal - port closed after disconnect			ed onnected
Com 11 (inaccessib) Com 12 (inaccessib) Com 13 (inaccessib) Com 14 (inaccessib)	TruPort)	Tie DTR to DCD, DSR al	ways active 🚽	
Com 15 (Inaccessibl Com 16 (Inaccessibl Com 16 (Inaccessibl Com 17 (Inaccessibl Com 18 (Inaccessibl Com 20 (Inaccessibl Com 20 (Inaccessibl Com 21 (Inaccessibl Com 22 (Inaccessibl Com 23 - 42 Com 44 - 63	Service         Host           1         192.168.100.5           2         3           3         -           4         -           5         -           6         -           7         -           8         -	!         TCP Por           10001	WARNING! If the Host is c firewall, then UDP ports 3 added to the firewall's exc Also, some legacy device : you are unable to connect cause is the Firewall on th the 'Add Rx Port' button to button caption reads 'Rem been ardied and can be re Add Rx Port	n the other s 7718, 43282 z lusion list. Yo servers respont to a device s is machine is add this port ove Rx Port't moved by pre The Firew
	•	III		•
Device List				Collapse 🔽
IP Address # Ports TCF	P. Product	ID HW Addr	ess Network Interface	Device Name
See 192.168.100.5 1 100	01 xPort=03/04	X5 00:20:4A:	B6:DD:25 192.168.100.3	Device Halle
•				4
Settings have been saved				
赤色だったのが黒色に変化	しました。			
	<u> </u>			
ファイル(E) 操作(A) 君	表示(⊻) ヘルプ(出)			

▶ 🛄 プロセッサ	*		
▷ 💷 ポータブル デバイス			
⊿ 🖤 ポート (COM と LPT)			

LantronixCPR Portとして COM4 が登録されているのが分ります。

# 7-5、本機と通信できなくなった

LAN の場合、片側の電源を OFF/ON すると通信できなくなります。それはリンクが切れてしまうのが原因です。 回復するには両側のプログラムも OFF/ON する必要があります。あるいは自動でリンクを再構築する機能が必要です。

初版作成日 2013 年7 月9 日 改定 Ver5.0 Telnet について追記 2013 年11 月20 日 改定 Ver5.1 7-4 へ詳細追加 2014 年 5 月 8 日 改定 Ver5.2 7 シリアルトンネリング設定部分など詳細追加 2014 年 5 月 13 日 改定 Ver5.3 参照箇所など詳細訂正 2014 年 7 月 16 日 改定 Ver5.4 プロトコル設定で一部の機種で設定が異なる旨を追記 2015 年 1 月 16 日 改定 Ver5.5 シリアルトンネリング設定手順の Protocol 選択に修正追記 2015 年 12 月 25 日 改定 Ver5.6 7-4、③へ管理者として実行を追記 2016 年 7 月 28 日

> 〒130-0021 東京都墨田区緑 1-22-5 州ビル 4F TEL 03-6659-9260 FAX 03-6659-9264 http://www.sacom.co.jp/

info@sacom.co.jp システムサコム工業株式会社